

## 《Lesson 1》 be 動詞の原形 be の使い方（肯定文）

今回は be 動詞の原形である be の使い方について学んでいきます。これは、Be quiet.（静かにして）のように命令文で使われた be なのですが、今回は「助動詞の後」や「前置詞の to の後」に使われる be について学びます。

基本的に be は「助動詞+be」や「to + be」の形で使われ

**be 動詞が入っている文（be 動詞の文、進行形の文など）に**

**「助動詞」や「to が入るフレーズ（want to / need to など）」を足したい時に使われます。**

なぜなら「『助動詞』や『to の後』には、動詞（be 動詞 / 一般動詞）の原形が入る」というルールがあるからです。それではまずは、肯定文の形から確認していきましょう。

<例 1> **I am a doctor.**（私は医者です）

↓

I will be a doctor.（I will am a doctor. =×） <私は医者になる予定です>

I \*want to be a doctor.（I want to am a doctor. =×） <私は医者になりたいです>

\*I want to become a doctor. と同じ意味。

<例 2> **He is studying English.**（彼は英語を勉強しています）

↓

He must be studying English.（He must is studying English. =×）

<彼は英語を勉強しているに違いない>

He should be studying English.（He should is studying English. =×）

<彼は英語を勉強しているべきです>

### 【作り方】

ステップ 1. **be 動詞の入る文**（be 動詞の文、進行形の文など）を作る。

ステップ 2. be 動詞の前に「**助動詞**」「**to が入るフレーズ**」を足す。

ステップ 3. be 動詞を **be** にする。

<例 1> 「私は医者になりたいです」という文の場合。

ステップ 1. **be 動詞の入る文**（be 動詞の文、進行形の文など）を作る。

→ 「私は医者です」

I am a doctor.

ステップ 2. be 動詞の前に「助動詞」「to が入るフレーズ」を足す。

I want to am a doctor.

ステップ 3. be 動詞を **be** にする。

I want to be a doctor.

<例 2> 「彼は英語を勉強しているに違いない」という文の場合。

ステップ 1. **be** 動詞の入る文 (be 動詞の文、進行形の文など) を作る。

→ 「彼は英語を勉強しています」

He is studying English.

ステップ 2. be 動詞の前に「助動詞」「to が入るフレーズ」を足す。

He must is studying English.

ステップ 3. be 動詞を **be** にする。

He must be studying English.